



学校だより 10月号

横浜市立日吉南小学校

令和5年9月29日

一人ひとりを大切に… ～本気で「誰ひとり取り残さない」を実現～

校長 山中 真紀子

9月の学校は、WBGT計（暑さ指数）とにらめっこです。指数が警戒を表示すると、校庭に赤いコーンを立てに行きます。すると、がっかりする子どもたちの声が聞こえてくることもあります。教育委員会からは、子どもたちが安心・安全に学校生活を送れるよう、感染症対策への注意喚起も出されました。子どもたちの状況、社会情勢を見極めながら、その都度判断をしてみますので、引き続き教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



9月個人面談

あゆみの形式変更に合わせ、直接保護者の皆様に学びの様子をお伝えさせていただきました。10月6日には担任から子どもたち一人ひとりと話をしながら渡します。頑張りを認め、課題への対処の仕方など学年に応じた伝え方をしていきますので、お子様とご家庭でも話をさせていただきますようお願いいたします。気になる点がありましたら、遠慮なく学校へお問い合わせ

わせください。家庭と学校が両輪となって子どもたちを育てていきたいです。

だれ一人取り残さない

第4期横浜市教育振興計画では、「一人ひとりを大切に…～本気で「誰一人取り残さない」を実現～」が提示されました。それを受け、教職員も研修を重ね、国際教室設置へ向けての準備を進めていることは先日お知らせさせていただきました。個人面談期間に合わせ保護者の皆様と懇談させていただく中で、特別支援の必要性を強く感じさせられました。また、面談を終えた担任と話をする、子どもの困り感を家庭と共有でき心強く感じられたとの声もありました。一人の子の困り感は、実は、口には出さない大勢の子の困り感であるかもしれないと考えていくことが必要なのだと感じます。行事一つとってみても、安心して参加できているのかを考え、工夫していきたいです。

今年の運動会は

各学年の演技練習が始まりました。タブレットの活用により、動きのイメージを事前に確認して参加できるように工夫していますが、不安になったり、負担になったりする子どもたちもいます。今回の運動会は、全学年が一堂に集まり、多くの保護者の方に見ていただきたいと計画しました。昨年度の運動会の振り返りでも保護者の方から「一堂に集まる運動会を行ってから、どのような形が日吉南小に合うのか検討し

ては」とご意見をいただきました。子どもたちの負担を考え午前開催とする中で、座席の工夫を行い、ペア学年でのつながりを大切にしたいと考えています。

子どもたちには朝会で、

「今年はみんなで運動会を行います。みんなでの運動会は赤白で戦う運動会ではありません。得点を競うのではなく、みんなで力を合わせる素晴らしさや達成感を味わい、一人ひとりの頑張りをみんなで応援する運動会になります。ペア学年やたてわりの友達のことを応援したり、お手伝いをしたりして、ひよみなの子どもたちがもっと仲良くなる運動会です。そして、全員が応援団で全員が選手です。皆さんがキラキラ輝く運動会にしてほしいです。いつも笑顔で力を合わせて、喜び合い、うれしくなるような運動会にしましょう。」

と伝えました。子どもから話を聞いた保護者様の中には、イメージしていたもの、経験してきたものとは違うことで、戸惑いがあったと連絡を受けました。主役は子どもたちです。子どもたちは、この運動会を最高の運動会にしようと前に進んでいます。保護者の皆様、地域の皆様のお力添えをいただき、盛り立てていただけるとありがたいです。

9月29日の朝会では、資源回収費で購入していただいたソーラン節の法被がPTA代表から児童代表の6年生に贈呈されました。法被の肩には、さくら門の桜が刻まれています。また、ふるさと納税で購入した桜色のはちまきもお披露目されました。



令和5年度義務教育人口推計表によると、これから本校は児童数が減少していきます。その時々にあった方法を考え、工夫して行事を作り上げていくことが必要になってきます。「今までのあたりまえを見直し、新しい形も受け入れる」そんな柔軟さを子どもたちにかかわる大人たちが、まず初めに私たち教師がもちたいです。

10月も様々な学年の取り組みが予定されています。感染症拡大防止に努めながら、引き続き学びを充実させてまいります。各家庭におかれましては、お子様の体調管理・把握をしていただき、いつもと様子が違うときには、早めに休養を取られますようお願いいたします。

